

Volunteer Information 日野 9月

ボランティア
インフォメーション

2026
9月

公助はすぐには来られない
命を救うのはあなたの力
体験する防災

詳しくは中面を
ご覧下さい



実物大、倒壊家屋からの救出訓練

日野市民でつくる防災・減災シンポジウム

日時

2026年

10月3日(土)

11:00~14:30 (予定)

会場

日野中央公園

(日野市神明1-12-1 市役所前)



楽しく学んで、
いざという時に
役立つ力を！

ー見て、体験して、考えるー

防災・減災 シンポジウム

今年の防災・減災シンポジウムは、映画上映と体験型イベントの2本立て。
知るだけでなく、見て、体験して、一緒に考えてみませんか？

みんなで
きてね！

10月3日(土) 体験する防災

🕒 時間 11:00~14:30

📍 会場 日野中央公園
(日野市神明1-12-1・市役所前)

👤 定員 150人(先着順)



イメージです



雨天時について

雨天時は、日野市役所内会議室にて講演会を行う予定です。前日までに申込者へメール等でご案内いたします。

2つの防災プログラムを体験できます！

1 実物大！倒壊家屋からの 救助実践・避難所スペース体験



- ・倒壊家屋からの救助体験
- ・けが人の応急救護や搬送
- ・避難所スペース体験

2 防災クッキング・ アウトドア防災体験



- ・役立つ防災クッキング
- ・身近なものでできる
防災の工夫
- ・アウトドアでの防災対策

🎬 イベント 映画『生きて、生きて、生きろ。』上映会のご案内

東日本大震災と原発事故から年月が経っても、被災した人々の暮らしやこころへの影響は続いています。映画を通して、災害後のこころの変化や、地域で支え合うことの大切さを考えます。



🕒 日時 9月27日(日) 14:00~16:30 (13:30 開場)

📍 会場 イオンモール多摩平の森 3F イオンホール

👤 対象 どなたでも

👤 定員 60人(先着順)

詳細な情報や
申込はコチラ！



日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員会

協力：日野市、日野市消防署、日野市社会福祉協議会、ひの社会教育センター、株式会社減災ソリューションズ、NPO法人LOVE EAST

熊本地震・千葉豪雨について

令和8年熊本地震および令和8年8月千葉豪雨で
被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日野市社会福祉協議会では、令和8年熊本地震への義援金・支援金募金を受け付けています。また、被災地支援活動に必要な物資のご協力をお願いしています。

最新の受付状況や必要物資については、日野市社会福祉協議会のホームページやSNSをご確認ください。

災害は遠い出来事ではありません。
平時からの備えと、できる支援を考えていきましょう。

今月注目のボランティア

秋祭りや運動会ボランティア依頼が届いています！

①日野市シルバー人材センター主催の「いきいき祭り」のボランティア

活動先：日野市シルバー人材センター（日野本町2-4-7）
内 容：屋台やゲームコーナーの手伝いや、片付けのお手伝いなどお祭りのサポートをお願いします。
日 時：10月24日(土) 11:00～15:00

②東京都七生特別支援学校の運動会

活動先：日野市教育センター（程久保550）
内 容：駐車場の案内、運営の手伝い、着ぐるみに入るなど
日 時：10月18日(日) 11:30～15:30



●パソコンのセットアップ

活動先：依頼者のご自宅（日野市日野）
日 時：年内の土曜日、日曜日、月曜日のいずれか1日 9:00～
内 容：新規にパソコンを購入するため、セットアップ、セッティング、プリンタ接続などをお願いします。



スマホ個別相談会 開催中！

9月14日（月）（スマホ体験会/個別相談会）

時間：10:30～12:00
会場：中央福祉センター（日野本町7-5-23）

9月16日（水）（個別相談会）

時間：13:30～15:00
会場：平山交流センター（平山5-18-2）

9月24日（木）（個別相談会）

時間：13:30～15:00
会場：福祉支援センターたまだいら（多摩平2-8-9）



9月28日（月）（個別相談会）

時間：13:30～15:00
場所：福祉支援センターたかはた（高幡1011）

無料・完全予約制

※上記相談会へのご予約は原則2か月に1回
※連続月でのご予約希望は、キャンセル待ちで受付
※東京アプリに関する相談は右記相談会にて対応します

知っていますか？

ローリングストック

普段食べている食品を少し多めに備え、賞味期限の近い物から日常の中で食べます。食べた分を買い足すことで、無理なく食品の備えを続けられる防災の工夫です。



備蓄を見直したとき、食べきれない食品があったら…
フードドライブという選択肢もあります。

日野市ボランティアセンターでは、困っている方へ届けるフードドライブ品の寄付受付を行っています。ご家庭で食べきれずに残っているものがありましたら、是非お気軽にお持ちください。

喜ばれる食品	受け取れない食品
・お米・乾麺など	・生鮮食品
・缶詰	・冷凍食品
・インスタント食品	・アルコール
・レトルト食品	・手作り食品
・お菓子	・開封されたもの
・飲料水	・賞味期限切れのもの



※未開封で賞味期限が2、3か月程度残っているものに限りです。

“備えること”と“分け合うこと”
食品から、できることを始めてみませんか？

特別編

東京アプリ登録サポート会

～最大11,000ポイント～

日時：9月11日（金）10:00～16:00
会場：福祉支援センターたかはた（高幡1011）

全6回・各回1時間程度

- ①10:00～ ②11:00～
- ③12:00～ ④13:00～
- ⑤14:00～ ⑥15:00～

△注意事項△

※登録にはマイナンバーカードと暗証番号が必要です
※機種によって申込ができない場合があります
※その他、注意事項はお申し込みの際にお伝えします

【申込先】日野市ボランティア・センター ☎042-582-2318
※9月1日(火) 9:00～受付開始

まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！

人を大切に、それが自然体に



南観光交通株式会社
代表取締役社長

中澤 洋 さん

私は群馬県の利根村、今の沼田市で生まれ、中学生まで自然の中で育ちました。高校から東京に出て、自動車の専門学校を卒業後、トヨタ系の会社で整備や営業の仕事をしていました。

日野に来たのは昭和46年。父が日野でタクシー会社を引き継ぐことになり、「お前も来るか」というような感じで一緒に来ました。当時は十数台ほどの小さな会社でしたから、本当に何でもやりました。整備ができたので、夜中に故障や事故があれば駆けつけることもありました。

振り返ってみると、今の自分や会社につながっているのは、やっぱり「人との出会い」だったと思います。

まだ車いすで利用できるトイレも少なかった時代、交通事故で車いす生活になった方が「何かできる仕事はないか」と会社に面接に来ました。そこで無線のオペレーターとして働いてもらうことにしました。その方がとても明るく、社員とも自然に接してくれたんです。

その出会いから、障害のある人と一緒に働くことを特別なこととして考えなくなってきたように思います。その後、福祉タクシーや福祉施設の送迎にも関わるようになりました。

福祉施設の職員さんとの縁で、デンマークへ福祉の視察に行ったこともあります。「寝たきりにさせない」という考え方や、福祉車両が街を走る様子を見て、「いずれ日本にも、こういう時代が来るのかな」と感じました。

人とのつながりを大切にする姿勢は、父から受け継いだものも大きいと思います。父は戦争を経験し、中国に対して「自分なりに償いをしたい」という思いがあったようです。剣道などを通じて中国との交流を続け、中国から来た留学生を受け入れるため、会社のバス車庫の上に宿泊できる場所までつくりました。私も中国を訪れたり、留学生たちと交流したりしました。

国や立場が違ってても、人と人として付き合う父の姿は、今の自分にもつながっていると思います。

会社では25年ほど前から「運輸業からサービス業へ」

を意識し、「地域に愛され、喜ばれる会社になろう」という言葉を掲げてきました。会社がここまで成長できたのは、一緒に働く社員の頑張り、地域の皆さんとの縁、そして妻や子どもたちの支えがあったからです。

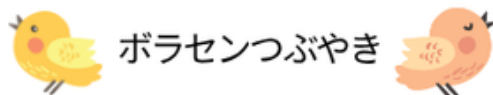
私は、声をかけてもらったから、できるだけ行ってみようにしています。行ってみると必ず、「これはいい話だな」「この人はすごいな」と思えることがあります。人の悪いところではなく、良いところを見たい。そして、いい話があれば誰かに伝えたいと思っています。そんなことを重ねているうちに、地域のさまざまな役職も、ご縁の中で声をかけていただき、お預かりするようになりました。

大切にしているのは、「友達を大切にすること」と「約束を守ること」。信用は、一度や二度会っただけでできるものではなく、長い付き合いの中で少しずつできていくものです。

出会った人を大切に、その人の良いところを見つけ、その縁を次へつないでいく。これからも人とのつながりを大切に、地域に愛され、喜ばれる会社と自分でありたいと思っています。



社員旅行のひとコマ。企画から当日の運転、現地での案内まで役員が担っています。中澤さんもその一人です。



熊本地震や千葉県豪雨災害が相次ぎました。犠牲となられた方々にお悔やみ申し上げ、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。失われた尊い命を教訓に、命を守り、未来へつなぐ行動を続けていきたいと思います。(宮崎雅也)

災害はいつどこで訪れるか予測ができません。もし、これを読んで今この瞬間に被災したら、あなたはどんな行動をとりますか？ 持ち出せるものや避難先など、この機会に少しでも考えてみてはいかがでしょうか。(橋谷優希)

少しずつ秋の気配を感じつつも、まだまだ暑い日が続きますね。夏の体験ボランティアには、たくさんの方からお申し込みをいただきました。今回もボランティア活動を通じて様々な年代の方と知り合うことができました！(花野美保)

防災・減災シンポジウムのプレイベントとして映画「生きて、生きて、生きる。」の上映会があります。震災後の心の変化や地域の支えあいを考えさせられる映画となっております。皆さんも一緒に考えてみませんか？(小俣由佳子)

タイ料理が好きです。家庭ではなかなか作ることができない味なので、外食するときによくタイ料理を選びます。ガパオライス、カオマンガイ、トムヤムクンラーメンなどいろいろありますが、特に好きなのがパッタイです。エビなどが入った米粉の焼きそばです。意外とくせがないので、みなさんもぜひお試しあれ(^^) (宮田彩乃)